

ひやくさい

2020年(令和2年)7月発行 No.104

福岡県高齢者福祉生活協同組合

〒812-0025 福岡市博多区店屋町3-23

サカビル2F

TEL(092)282-1431 FAX(092)282-1433

発行責任者：代表理事 森元 茂利

編集責任者：広報委員会

Email: ikiiki00@mba.sphere.ne.jp

ふくし生協

検索



第23回通常総代会にむけて



専務理事

森元 茂利

続けています。

国内では、昨年

10月からの消費税

増税に加え、新型

コロナウイルスの

蔓延が重なり国民生活は極めて

厳しい状況が続いています。

発達した世界経済自体が、人

の移動を通じて新型コロナを世

界中に蔓延させました。今回の

新型コロナウイルスの蔓延は、

人間の生命に鈍感な経済社会の

あり方に原因の一端があると言

えます。

介護現場や保育現場の職員

は、絶えず感染の脅威に晒され

ながら働いています。医療関係

者だけでなく、介護や保育に関

わる職員みなさんに感謝の心

とエールを贈ります。ありがと

うございます。

介護、学童で働く職員のみなさ

んへエールを！

こうした中で、介護事業では

今回のコロナ感染が蔓延してい

る中で高齢者の命と生活を支

え、また、学童では、働く保護

者の就労支援に重要な役割を果

たしています。

介護現場や保育現場の職員

は、絶えず感染の脅威に晒され

ながら働いています。医療関係

者だけでなく、介護や保育に関

わる職員みなさんに感謝の心

とエールを贈ります。ありがと

うございます。

(11頁参照)

させていただきます。

介護事業、学童保育事業の社会的な役割と「3密」で高まる感染の脅威

新型コロナウイルス感染症の発生でWHOがパンデミック宣言を出し、日本国内も「緊急事態宣言」が出されました。突如として出現し、地球規模で蔓延し世界を一気に破壊していま

す。人々の生命を奪い、あらゆる経済活動と国民生活を破壊し

ています。

国内では、昨年

10月からの消費税

増税に加え、新型

コロナウイルスの

蔓延が重なり国民生活は極めて

厳しい状況が続いています。

発達した世界経済自体が、人

の移動を通じて新型コロナを世

界中に蔓延させました。今回の

新型コロナウイルスの蔓延は、

人間の生命に鈍感な経済社会の

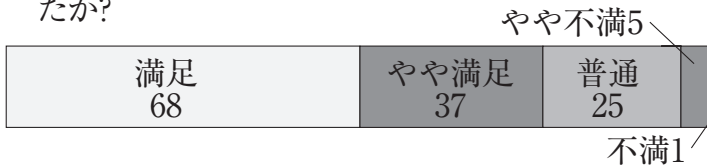
あり方に原因の一端があると言

介護事業では、通所をはじめ職員が利用者介助のために密着せざるをえず、「3密」の最たる場所であり、国の示すソーシャルディスタンスは望むべくもありません。学童保育にいたつては、保育の役割が遊びを中心として実施されており、子どもどうしも支援員も密着は避けられません。

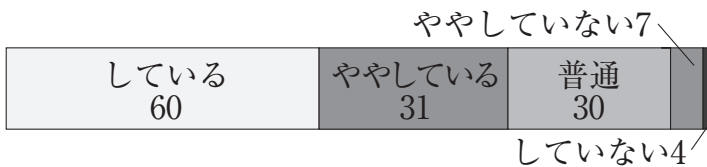


特集 ご利用者さま満足度調査 デイサービス編

1、デイサービスを利用して何かよいことはありましたか？



2、デイサービスに通われる事を楽しみにしていますか？



3、デイサービスに通われてからご家族様に何か変化はありましたか？



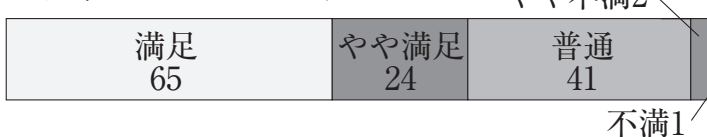
～お風呂利用に関して～

1、お風呂の利用について満足していますか？

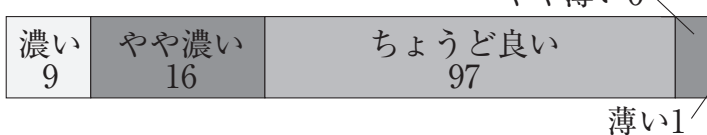


～お食事に関して～

1、食事の量はいかかですか？



2、食事の味付けはいかがですか？

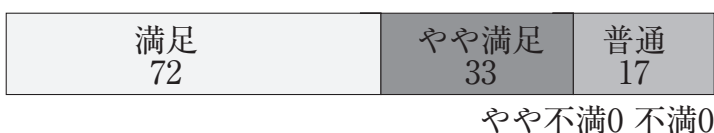


～全体を通じて～

1、ご利用しやすい施設になっていますか？



2、ご利用者様・ご家族様の支えになっていますか？



今回は「デイサービス」の満足度アンケート結果をご紹介します。

デイサービスは、ご利用者さんの生活の中で最も多くの時間を過ごす場です。このため快適にデイサービスの利用ができるよう、ご利用者さんやご家族からご意見を伺いました。

① デイサービスを利用して変わったことに対する質問

では、約8割の方が「満足」「やや満足」でした。約半数の方が、「ご利用者の生活リズムが整った」とお答えになり、約7割の方がデイサービスに行くことを楽しみにしていることがわかりました。一方で、デイサービスでの機能訓練については「満足・やや満足」は6割にとどまり、身体機能が改善できたと実感しているご利用者さんが少なかったことが

② ご家族にとっては、約8割の方が時間的、精神的余裕ができたという回答されました。

特徴です。デイサービスの内容では、食事とお風呂を楽しむにしている方が多く、体操やレクリエーションについて、さらにご利用者さんのお声を集めて改善していくことが望まれていることがわかりました。

③ 食事については、各デイサービスで厨房の担当者ががんばっています。味付けについては7割以上の方が「ちょうどよい」とお答えになりました。デイサービスの中で要求度が高い事項ですので、さらに充実できるようにがんばっていきます。

(本部事務局 花田眞人)

社会保障を考える③

諸制度を有効利用しましょう

事例1ー国は新型コロナウイルス

前回は、新型コロナウイルス感染症対策から露呈した日本の社会保障の遅れの一例とその背景について①外出自粛と休業要請は補償がセット②医療体制が崩壊にならないように医療現場への財政支援を（PCR検査センターを各地に。医療機関での医療用マスク、防護服、消毒液、フェイスシールド、人工呼吸器等を国の責任で増産他）③この30年の間に保健所や公立病院の統廃合と人員減が行われてきたことを紹介しました。

今回は、その後の状況下で行政への働きかけ等の事例を紹介いたします。



の緊急経済政策で国民健康保険料、75歳以上の後期高齢者医療保険、65歳以上の介護保険料の減免措置が行われます。減免の要件は世帯主の事業収入や給与、不動産収入他が昨年より3割以上減少が見込まれる場合です。持続化給付金100万円支給は売上高5割以上の減なので同時にできます。

連携し行政の柔軟な対応実現

事例2 これはケアプランセンター福岡の実際の利用者さんの事例です。この利用者さんは施設の短期入所を利用していました。短期入所（ショートステイ）は連続30日の利用で1日は空白をつくります。自宅に帰るか市の安心ショートステイの2900円です。そしてまた、短期入所が連続30日続きます。いつも1日は自宅に帰っていますが、このコロナ禍で施設は自宅への帰宅や外出を認めませ

ませんでした、この利用者は65歳以下なので安心ショートも受けられず、自費の短期入所は12,000円～13,000円になりますと言われました。施設も区役所も本庁も制度だからと言って門前払いでした。こんな時期だからこそ安心ショートの手続きの柔軟な対応を本庁に求めましたが、もっと活用できる社会資源を探しなさいと言われました。市議会の議員さんに頼みました。すぐに担当部署と検討をしてもらいましたが、結果として、制度は変えられず、ショートステイが一時帰宅を認めました。

社会保障制度の改善許さず協同でできることを追求

最後に、コロナ禍において、

まだまだ全体が自粛の中で地域や外にでていけない状態が続いています。そのなかでも、「コロナなんて関係ないですよ。しっかりと感染予防と対策をしておけば。今は、外に営業できないから感染対策をこのようにやっています。チラシや文書にして病院の連携室やケアマネに配布しています。今は新規利用者5人の調整で休めません」（6月理事会での松本弦さんの発言）は久々に元気をもらった。困難利用者の受け入れを続けている福岡の坂口さんの実践もいづれにぶれない。どんな状況でも彼女はふくし生協の宅老所ケアの実践です。（同上での発言）社会保障制度の改善を許さないという冷静な頭と一方で自分たちで地域で在宅で協同でできることを追及している姿に学ぶことが多い。

（本部事務局 萩尾光則）

フリー・エイジー ④2

やろうと思ったら

実行あるのみ

福津事業所 坂口 佐代美



私の旧姓は「瀧浪 佐代美」、出身は佐賀県唐津市です。自

分も近所の方も「ミーちゃん」と呼び末っ子で甘えん坊さん。幼稚園に行くのが嫌で登校拒否児ではなく登園拒否児だった為、姉がいつも学校に遅刻をしていたと言います。両親がどんな思いで名前を付けたのかなーと考えると、唐津は、豊臣秀吉が朝鮮出兵した時の佐用姫伝説があります。私の親は、きっと佐用姫に代わる美しい子を望んで「佐代美」と名付けたと私一人解釈して楽しんでいました。でも実物はこんな人です。珍し

い名前で、テレビで二回ほど耳にしましたが、同じ名前の方と出会ったことはありません。

子どもの成長が私の成長

二十歳で結婚 北九州→長崎へ転勤のんびり専業主婦をしながら二人の息子を育て、テニスにバトミントンと遊ぶ毎日でした。子どもの成長が私の成長で、中学、高校、社会人と育つ子ども達を観ながら自分自身の成長を考えていました。40歳の手習いで自動車教習所に通い免許取得。孫が生まれ「おばあちゃん」になった日々の中で、これからが「私の人生」と老後を考えるようにもりました。

やろうと思ったら実行あるのみ

今思い返すと、長崎の今は亡き友人から「ヘルパー始めたよ」と連絡がありました。市報などでヘルパー講習が気になっていた私に「自分でやろうと思ったから実行あるのみ」と言われたことで、当時の仕事を辞め50歳の手習いでヘルパー2級を取得しました。介護職に向かう第一歩だと思います。子育て中は、キ

ヨスクでの販売員、書店での店員をして、接客では高齢者の方との出会いが多くありました。

身近な介護を通して

私が30歳後半、主人の義父を3カ月程自宅にて預かる事になりました。義父は、緑内障があり視野が狭く「道路の端を歩くと落ちるから真ん中が一番安全」と。視界の悪い人にはもったもな理由です。二月三日の節分では、手に豆を持ち何度もまこうとするのですが豆まきができませんでした。実家では一人でお風呂に入っていたのですが、湯を浴びるだけ。背中を流している義父が「ありがとう。気持ちがいいね」と感謝の言葉を言ってくれたのです。できて



お孫さんとおそろいでウォーキング

当たり前と思う事も高齢者にとっては介助が必要なことが多々あると思います。

毎日の生活の中で自分らしく生活ができることが人生の楽しみ生きる力ではないでしょうか。日々変わってゆく義父の姿も私を介護の仕事に向かわせてくれたのです。初めて介護職として勤務したのが地域密着通所介護事業所で認知症対応型の介護事業所でした。肝っ玉母さんの貫禄のある管理者の方に惹かれ仕事に就き、日々認知症の方を介護を行っていると、祖父が認知症で自宅介護を両親が四苦八苦しなから「あーでもない、どうすればいい」と一生懸命介護する姿思い出しました。認知症であって祖父は一人の人格者でした。私にとってもとても優しい祖父でした。ご利用者様もご家族にとっては良き家族その人らしく生きて頂く事が大切です。私は、子育てで「子どものできるはないかな」「一日一回の良かった探し」を毎日の生活の中で探してきました。

シリーズ 庶民の文化雑感 No. 7 映画編 ②

東京・大阪に負けない
映画大県だった福岡

「まづひろ博多」と

炭鉱の発展を背景に

福岡県で最初に映画が上映されたのは、1897年(明治30)福岡市博多区御供所の聖福寺境内にあった常設劇場教楽座(前号で致楽座としたのは間違い)です。県下で最初の常設映画館は「1911年(明治44)に設立された久留米市の世界館だ」と『福岡県百科事典(西日本新聞刊)』で記されていますが、『福岡博多映画百年』の著者能間義弘は「1910年(明治43)の門司の電気館だ」としています。1917年(大正6)に生まれた能間は民間企業に勤めながら映画研究に本格的に取り組み、福岡での映画評論活動で名を馳せ、映画史に力を入れ1984年(昭和59)に『図

説 福岡県映画史発掘 戦前

篇』の名著を出版します。この本に魅せられた私は、職場の福岡市立東市民センター主催事業「日本映画100年記念 映画を学ぶセミナー」を担当し、能間に講師の依頼をしたところ、セミナー受講者は新たな「映画の楽しみ方」を学ぶことができました。その後、能間は朝日新聞福岡地方版に「博多映画100年」をテーマに102回にわたる記事を連載します。亡くなられた後、『映画界を支えた一地方福岡』などを加えて、前述の『福岡博多映画百年』が今村書店サンクリエイト編集部編として2003年に出版されます。

この書によれば、大正から昭和にかけて福岡県は東京・大阪に負けない観客数を誇り、映画

大県福岡が明らかにされます。「芸どころ博多」や筑豊炭田・

三井三池炭鉱など炭鉱労働者を多く抱えていたことが影響して

いると能間は指摘します。常設

館も門司や久留米に続いて小

倉・八幡・直方など各地で誕生

します。市だけでなく、町や村

にも大衆が楽しむ場所として多

くの映画館が生まれます。とく

に芸どころ博多の観客市場に目

を付けたのが「マキノ映画」の

牧野省三で、完成直後の作品を

「まづ博多で上映せよ」と指令

したと言います。とはいって

も、普段の上映形態は邦画と洋

画の3本立てと地方上映扱いで

した。1958年(昭和33)の

映画鑑賞最盛時には、県内の映

画館は400館ほどありました。

福岡を舞台にした懐かしの映画

福岡県ゆかりの題材で映画化

された作品も少なくありませ

ん。少し古くなりますが、いく

つかの作品に迫ってみます。戦

前多く取り上げられたのは、

『黒田騒動』で、大河内伝次郎

や坂東妻三郎などが主演してい

ます。敗戦の前年に片岡千恵蔵主演で『かくて神風が吹く』が

制作され戦意高揚が強調されま

す。他方同年に制作された、戦

争と家族とくに母と子の姿を描

く火野葦平原作・木下恵介監督

の『陸軍』は、制作依頼した陸

軍に上映を禁止されます。(詳

しくは次号で触れます)北九州

ゆかりの作品には戦前坂東妻三

郎・戦後三船敏郎が主演した

『無法松の一生』が名作として

輝いています。筑豊を描いた五

木寛之の青春小説『青春の門』

で、仲代達矢と菅原文太が主演

しています。また、炭鉱地帯の

惨状を描いた加藤大介主演の

『筑豊の子どもたち』がありま

す。命をかけてアフガン復興に

取り組んだ中村哲さんの祖父母

を描いた『花と竜(火野葦平原

作)』は、藤田進・石原裕次郎・

中村錦之助・高倉健らが主演し

ました。次号は「映画は戦争を

どう描いたか」です。

(つづく)

(記・日下部恭久・東区香椎在住)

特集 長生き・元気！取材リポート③

指先も口も動かさないとダメ

「私の話を聞いても何も面白いことはないよ」と謙遜されながらお話をされる中尾ゆき子さん。ふくし生協「ゆめはうす」に住み「デイサービスなつみね」に通われている方で、今年百五歳になられる元気な方です。

れ、にぎわっていたそうです。

中尾さん自身も社会に出てすぐに佐世保の軍事工場で働きました。大村の工場へ転勤になった際、八月九日に長崎市に原爆が投下され、きのこ雲を見たそうです。

その後直方の炭坑で働き二度の結婚と二度の離婚を経験されました。足を痛め直方の病院を入院していた時にふくし生協を紹介され、「ゆめはうす」に引越し「デイサービスなつみね」に通うようになりました。

中尾さんは長崎県の川棚町生まれ。幼少のころは大分や熊本から徴用で来ていた労働者が溢

その後直方の炭坑で働き二度の結婚と二度の離婚を経験されました。足を痛め直方の病院を入院していた時にふくし生協を紹介され、「ゆめはうす」に引越し「デイサービスなつみね」に通うようになりました。

はきはき対応
「指先も口も動かさないとダメ」
健康を保つために意識的に指先を動かすようにしていて、洗濯物をたたんだり食事メニューを切り貼りして連絡ノートに貼ったり。時には新聞紙の整理を手伝ったりしています。



また、お話しする事も大好きで声も大きくはっきりと応対される中尾さん。「指先も口も動かさないとダメ。すぐになまってしまう」と語られました。

若い頃兄を頼り東京にも住んでおられ、言葉は標準語。厳しいお兄さんだったようで「生活習慣は今も兄の影響を受けている」そうです。

朝の日課はお化粧から、本当にきちんとされています。「その兄も、近年には姉も亡くなり、横浜に住んでいる甥たちが数少ない親族」と、少しさびしうでした。

自分の意見をはっきりと

長寿の秘訣をおうかがいしました。

集団生活の中で、現在は少し

耳も聞こえづらくなり「自分の意見はきちんと人に伝えること」と答えられました。なるほど、質問にハキハキ答えながらも時折だまってしっかりと言葉を選ばれていました。

もう一つは食べる事。その土地の食べ物が好きでせんべいもバリバリ。好き嫌いもなくお菓子も良く食べます。ちなみに味付けは濃い味が好みとか。

戦争は二度としてはいけない

直方の炭坑で働いていた時期に、全日自労の代表として、世界大会として開催されていた初期のころの日本母親大会にも参加されたことがあります。

長崎での戦争体験や原爆の怖さをご自身の身をもって実感されています。「戦争の怖さと悲しさは経験と聞いた話では大違い。戦争は二度とはいってはいけません。そう実感します」とさらに力を込めて語られます。

(記：編集委員会・岩本)



職員とも元気にはきはきと話す中尾さん(中央)

知恵の輪「コラム」

年金の受け取りは

75歳からになる？

Q 最近、年金の受取りが75歳からになるような話を聞きました。ほんとうでしょうか。

A コロナ禍の国会で、年金制度改正法が成立しました。「年金の受取り75歳」などと聞かえてきますが、今回は、支給開始を遅らせるということではありません。繰下げ制度(本来の支給開始年齢より遅らせて年金を受け取る仕組み)が現行の70歳から75歳へと拡大されます。(2022年4月実施)選択肢が増えると考えてください。

年金額については、例えば65歳時点で年間100万円を受け取る人が70歳から受け取ると142万円に、75歳から受け取ると184万円に増えます。お得な感じがしますが、65歳から受け取る場合と75歳から受け

取る場合を比較すると、87歳頃に同額となり、さらに長生きすればプラスになります。

では、いつからもらえばよいのか? 正解はありません。いつ、どのくらいのお金が必要かで、受取時期を考えましょう。

年金額が増えると、医療保険料や介護保険料が増えることもあるので要注意です。

(非常勤理事

社会保険労務士 菅野美和子)

募集

わたしのオリジナルマスク

「ひやくさい」ではお手製のオリジナルマスクの写真を募集しています。手ぬぐいやバンダナなど創意をこらしたオリジナルマスクの写真、ぜひご投稿ください。

(編集委員会)

お手紙

103号に続き、はがきにて長文が寄せられました。

「ひやくさい」を読み、お役立ていただいていること感謝いたします。

今回も掲載させていただきましました。

(編集委員会)

▼103号の(クロスワードパズル)完成した言葉は「コロモガエ」です。今月号の「みんなの文芸広場」の作品は、どなたの分も格別すごいと思いました。

私事で恐縮ですが月始めに87才の夫が肺炎になりコロナかと慌てましたが幸い陰性だということが入院していますが面会は出来ず何となく気がめいって居りました。今日ひやくさいからの嬉しいお手紙が届き、まさかの102号での当選でした。コロナの恐怖も吹っ飛んであっちこっちへメールや電話をかけてすごいです。いとおめられて嬉しくて気が晴れました。ありがとうございます。早速読みたい本を買わせて頂きます。これから

けいちく事業所 謎の用務員



本部への投稿お待ちしております



うちの
ツイン
イナ

もよろしくお願い致します。

(東区・池口 悦子)

コロナに負けるな！ 元気にラジオ体操

ぬくもり

新型コロナウイルス緊急事態宣言の解除で、お休みされていた利用者さんも徐々にご利用開始され元気な笑顔が戻りつつあります。

「ぬくもり」では、毎日午後のおやつの後、利用者さんと職員全員でラジオ体操をしています。

自宅でお過ごしの際に歩行が不安定になられた方もあり、体力回復に繋がればと考えています。



ご存知ですか？ SDGs 持続可能な 開発目標

職員全員で、感染拡大予防の為、「密と喚起」に気を付け、『熱中症』に注意、『転倒等の安全配慮』をしながら利用者さんに元気になっていただく取り組みをしています。



日本生協連は、2018年6月15日に開催された、第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。これは2015年に国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」について、生協もその一端を担い、実現に貢献することを約束する行動宣言です。

日本生協連に加盟するふくし生協も、この取り組みを推進していきます。

SDGsとは

SDGs（エスディー・ジー・ズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

このサミットでは、2015年から2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」をSDGsと呼んでいます。ふくし生協がめざすものと重ね合わせて

私たちふくし生協は、組合員が自らの要求や願いに基づいて活動する組織です。そして、すべての世代の人々と協同し、高齢になっても障がいがあっても、安心していきいきと暮らせる地域づくりをめざしています。

私たちふくし生協の理念とSDGsのゴール（目標）を重ね合わせ、これからも取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsロゴマーク



須恵町のセンターを拠点に地域高齢者の食の提供と声かけに取り組んできました

切実な要求から始まった事業

長年地域に愛されてきた粕屋給食センターを閉鎖する事になりました。

これまで長きに渡り利用して頂いた方々、事業所運営にご協力頂いた方々に心よりお礼を申し上げます。

国策として高齢者給食事業が縮小され、事業所の閉鎖を余儀なくされましたが、高齢者の孤独死は今も無くなっていません。粕屋給食センターの存在価値は今も生きています。この精神を今後も、ふくし生協運営に生かしていきます。

長い間お世話になりました 41年の歴史に幕 粕屋給食センター

粕屋給食センターは、1979年糟屋郡で老人給食事業に取り組むために誕生しました。以来地域の高齢者の方々に毎日お弁当を届け、声をかけ、見守ってきました。

事業開始の理由は孤独死

給食事業開始のきっかけは郡内の高齢者の孤独死でした。

社会問題にもなり、対応策の一つとして老人給食は当時注目されていました。一日に最低二回の配食時に直接対話し、安否を確認できるのです。そして食事を通じて健康状態もチェックできるなどの利点がありました。が、採算性が大きな壁となり、当初は実現できていた自治体は殆どありませんでした。そのような中、故竹森幸男氏（ふくし生協元副理事長）らが中心となって「老人給食センター」をス

タートさせました。

地域高齢者を食と交流で支え

事業スタートから四一年間に渡り、心通わせる老人宅配弁当に、地域の方々や友好団体への行事弁当・ランチ弁当、近年ではオードブルやお正月のおせちなどの工夫を凝らし、利用者からは大変喜ばれてきました。

未だ問題は解決されていない

高齢者の孤独死問題は解決したわけではありません。食の保障と見守り活動はさらに必要性を増しています。高齢化社会が進むなか、国や自治体の予算縮小により、事業を続けられないのは本当に残念でなりません。問題を解決するための議論と対策が国と自治体には必要です。ふくし生協は、今後も地域から孤独死をなくすためにも、国や自治体に問題を投げかけるとともに、できることを探求し続けます。

（記：編集委員会 岩本）

ご挨拶

粕屋給食センター 職員一同

今年7月をもって給食事業を廃止するにあたり、ご利用者様、各事業所の方々には大変お世話になりました。

ふくし生協の食を担う事業として四一年間給食事業を行ってきました。この間職員の高齢化に伴い新規職員の募集を何度も試みましたが応募者がなく、事業継続にも大きな支障をきたし、また一方では食数減少により、事業収益の減少に歯止めがかからない状況が長い間続いてきました。

全職員と経営改善について何度も協議し実行してきましたが赤字経営状況を打開するまでには至らず、長期的展望が望めない現状を鑑み事業を廃止することに決定致しました。ふくし生協のみなさんには長い間お世話になりました。職員一同あらためてお礼申し上げます。

読者の声

▼「知恵の輪ーコラム」四月からの年金(五月発行)。年金問題、とりわけ「マクロ経済スライド」による年金削減は許せません。社会保険労務士菅野さんの解説・回答に今後とも期待しております。

(古賀市・松崎 文夫)

▼今回もとても勉強になりました。児童クラブは働く親にとってはとても助かる存在です。で頑張っていると思います。特集の満足度調査もわかり易くとても良かったと思います。早くコロナウイルスが終息して安心して旅行に行きたいです。

(行橋市・古門 文江)

▼「ひやくさい」の文字が大きくなり、読みやすくなりました。たよ。コロナ騒ぎはいつまで続くのでしょうか。先が見えません。先日、夫の白内障手術前検査に同行。9時からの診察なのに、玄関前には数人の人々が並んでいました。時間になり中に

入ると、30分くらいで待合室は人で一杯。密接そのものでした。手術日の待ち時間、私は耐えられるだろうか、今から心配しています。

(八幡西区・野澤 啓子)

▼ハローデイのレシート投票、私もやっています。これって、箱の位置も投票に関係ありますよね? 実際の金額は69万と聞いてうれしくなりました。

(中間市・岸本 純子)

▼いつも「ひやくさい」を送り頂きありがとうございます。クロスワードパズルはいつも挑戦しています。今回初めて応募してみました。

(小倉北区・片桐 耀)

▼毎号楽しみに読んでいます。外出しないので家で手づくりマスク100枚位作りました。おかげで暇つぶしになり、人にも喜んでもらいました。早く温泉に行ったりお芝居見に行ったりしたいです。大変な時ですが皆さんで頑張りましょう。

(行橋市・本間美恵子)

▼着物を数(すう)枚、(マ

スク作り)やっています!

(戸畑区・西川 蓉子)

▼コロナ禍を何とか乗り切りたいものです。

(宗像市・村井 直樹)

▼ふくし生協で働かれています。方々も、コロナの中、たいへんだと思います。ありがとうございます。

(早良区・永島多佳子)

▼「ひやくさい」楽しみにしています。クロスワードパズル大好きです。結構考えます。解けたときは嬉しいです。以前1回当選しました。大変嬉しかったです。みんなの文芸広場も楽しみにしています。

(西区・定松フサ子)

▼コロナ流行の自粛期間も軟らぎ手洗い・うがいも、すっかり身に付きました。車椅子ですが、そろそろドライブに行きたいな。お花でも買いに!!

(南区・立岡 ミツ)

▼今回文字が大きくなり、とても読みやすく一気に読み終ることができました。

運動不足解消のために写真で

の解説付きで在宅にて手軽にできる運動を紹介して下さりためになりました。次回は上半身編でしょうか。楽しみにしております。

コロナ対策だけではなく、今後出来るだけ取り入れ貯金ならぬ「貯筋」をして皆様元気に長生きしていきましょう!

(東区・香住ケ丘 岡村美智子)

▼考えることより動く方が好きですがクロスワードパズルだけは脳トレと思ってゆっくり考える時間です。

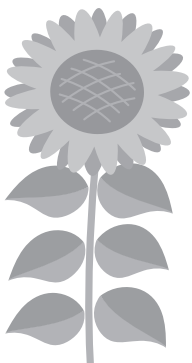
(糟屋郡・園木 一海)

▼特集満足度調査がおもしろかったです。

(中央区・港 美千代)

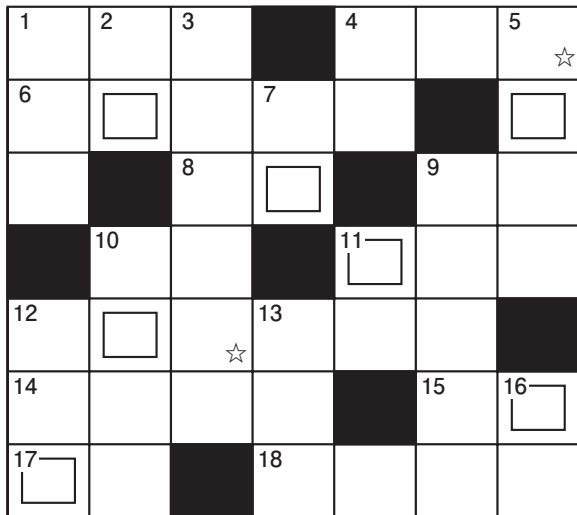
▼手軽にできる運動不足を解消がとても気にいって毎日ガンバっています。一緒に、断捨離もして楽しんでいきます。

(飯塚市・富田みえ子)



クロスワードパズル

53



▼タテ、ヨコの《カギ》に従ってマス目に言葉を入れてください。ただし、右下隅に☆のあるマスには漢字が入ります。タテ、ヨコで漢字の読みは違っています。すべてのマスを埋め終わったら、二重マスの中の文字を並べ替えて、《ヒント》にふさわしい言葉を作ってください。それが答えです。

- 《タテのカギ》
- 琵琶湖から京都へ流れているのが琵琶湖
 - 言葉をメロディーに乗せて二つで組の算数の文房具
 - 人間の呼吸器官
 - 簡単にするため一部を取り除く
 - ランプで最後にジョーカーが残った負け、これ何抜き?
 - 自転車やオートバイの横に付けた車
 - 害のある微生物を除去すること
 - 準備を十分にして機会を待つ、何を持す
 - 先を考えず、この瞬間だけ楽しければいいとする主義
 - 悪い評判、くそそそぐ
 - ウイスキーはこれに入れて熟成させます
- 《ヨコのカギ》
- 犯人逮捕のために警察がします
 - 自分の行動を振り返って間違いがなかったかを考えること
 - 事に備えて待機すること
 - アフリカの川や湖にすむ大型の哺乳動物
 - 刀を収めます
 - はかりごとや計画、くを練る
 - カラオケで奪い合うのは?
 - これから暑くなりますが、クーラーのこれは低すぎないように
 - 1年を12に分け、それを単位に額をきめて契約する、駐車場
 - がつかりする、何を落とす?
 - インドの平焼きパン
 - 数学の等号

- 《タテのカギ》
- 琵琶湖から京都へ流れているのが琵琶湖
 - 言葉をメロディーに乗せて二つで組の算数の文房具
 - 人間の呼吸器官
 - 簡単にするため一部を取り除く
 - ランプで最後にジョーカーが残った負け、これ何抜き?
 - 自転車やオートバイの横に付けた車
 - 害のある微生物を除去すること
 - 準備を十分にして機会を待つ、何を持す
 - 先を考えず、この瞬間だけ楽しければいいとする主義
 - 悪い評判、くそそそぐ
 - ウイスキーはこれに入れて熟成させます
- 《ヨコのカギ》
- 犯人逮捕のために警察がします
 - 自分の行動を振り返って間違いがなかったかを考えること
 - 事に備えて待機すること
 - アフリカの川や湖にすむ大型の哺乳動物
 - 刀を収めます
 - はかりごとや計画、くを練る
 - カラオケで奪い合うのは?
 - これから暑くなりますが、クーラーのこれは低すぎないように
 - 1年を12に分け、それを単位に額をきめて契約する、駐車場
 - がつかりする、何を落とす?
 - インドの平焼きパン
 - 数学の等号

本部事務局だより

第23回通常総代会のお知らせ

今年度は、コロナウイルス対策のため少人数で行うことになりました。また、総代選出について、6月23日(火)総代選挙の公示を行いました。本部、事業所で公示を行っております。総代立候補締切は7

月18日(土)です。

総代会日程・会場

日時 2020年9月27日(日)
10:30~15:00

会場 福岡国際会議場(4F)
福岡市博多区石城町2-1

編集後記

コロナ禍のなかで、毎日の生活を安全・安心に過ごすためのさまざまな工夫と努力が生協の内外で積み重ねられています。

平時の生活を取り戻すにはまだまだ時間がかかりそうですが、希望をもって日々をおくりましょう😊

前回の答(No.53)

1 木	2 ウ	3 コ	4 オ	5 テ
6 サ	7 チ	8 ス	9 イ	10 墨☆
11 白	12 カ	13 テ	14 ツ	15 タ
16 白	17 イ	18 ツ	19 シ	20 キ
21 白	22 ヨ	23 ウ	24 チ	25 シ
26 コ	27 白	28 ヌ	29 ソ	30 ウ
31 ミ	32 ズ	33 ア	34 ツ	35 ラ
36 ミ	37 ズ	38 ア	39 ツ	40 ラ

(コロモガエ)

■前回の答は「衣替え」でした。正解者多数につき、抽選で次の5人の方々にQUOカードを送りました。

◆〇三号クロスワードパズル当選者

- ・富田みえ子さん(飯塚市)
- ・港 美千代さん(福岡市中央区)
- ・西川 蓉子さん(北九州市戸畑区)
- ・片桐 耀さん(北九州市小倉北区)
- ・松崎 文夫さん(古賀市)

完成した言葉と「ひやくさい」の感想などをはがきを書いて、「ふくし生協・広報委員会クロスワードパズル係」まで8月15日必着。正解者の中から抽選で5人にQUO(クオ)カードを送ります。



▲ほのぼの消しゴム版画作品(版:加治美千代 字:鶴田輝子)

ご投稿ありがとうございます。

みんなの 文芸 広場



▲ミナミ・デイサービスの皆さんの作品



▲江上淑子(水巻町)



MY ONE SHOT

「和の光」撮影者 東区 岩本義孝



▲小山トミ(東事業所)



投稿俳句と川柳・短歌

俳句

山田マツ子(ミナミデイサービス)

公園の 桜を語り 花が咲く
八重桜 おくれて見事 開花なり
風無情 桜ちらして 憎れ子

短歌

毛利 好(ミナミデイサービス)

コロナ来て 桜やツツジ 美を放つ
されど そこには 人影もなし
街中の 道行く人は うつむいて
顔面マスクで 足どり重く
道ばたの タンポポすらも 淋しげに
コロナは憎し 花に罪なし